

とらうべ通信

2016. 10月号
NO.

発行所：(社)香川県助産師会 高松市春日町 1176
発行責任者：眞鍋 由紀子 ☎：087-844-4131 FAX：087-844-4130

会長便り

会長:眞鍋 由紀子

あちらこちらで彼岸花の鮮やかな赤い色が目に付き、空には秋の気配を感じさせる雲が漂い始めた好季節となりました。会員の皆様には、香川の母子保健活動にご尽力いただいていることに感謝いたします。



さて、私たちの日常業務である分娩介助の分野において、既に産科医療保障制度から報告書が出されているので、ご存知の方もおられると思いますが、分娩時の CTG 取扱いについて、分娩監視装置を装着しているから安心ではなく、CTG をどう読み解くかが問題であります。経過をみていいのか、早急な処置が必要なのかを読み解く力がなければ、装着してないのと同じレベルになるのではないかと産婦さんに窮屈な思いをさせながらベルトで固定しての CTG であるが、このベルトを付けずにクリアに胎児心音が聴取できればどんなにいいかと夢のような話と言っていたら「いい物が開発されていますよ」とのことです。スマホを利用しての対児心音聴取が可能とのこと。実用化がされれば産婦にとっては非常にうれしい事であり、是非、私たち助産師が声を上げていかなければ、と考えます。

もう一点、声を上げることとして、8月の研修会報告にもありますように、妊娠期からの乳児の予防注射について情報提供をしていくことが重要であると考えます。今後マタニティークラス等に関わる方々はぜひ情報提供をしてくださるよう、よろしく願いいたします。

新しい情報として、南海トラフがらみで、いつ震災が発災するかわかりませんが、ここ数年懸案事項となっていた香川県と香川県助産師会との災害時の協定書について進めてきました。そしてこの度、協定書を締結するべく段取りが整いつつあります。協定書が出来ましたらぜひ、皆様に見て戴きたいと思っております。



10・11・12月の研修会 行事のお知らせ

日時	ポイント	イベント・研修会	講師等	場所
10月2日(日)		子育て支援フェスタ		さぬきこどもの国
10月14～15日		第57回日本母性衛生学会		品川プリンスホテル
10月21～23日		中国・四国地区助産師研修会		徳島県 阿波観光ホテル
11月3日(祝)		いいお産の日 IN 高松		高松テルサ
11月6日(日)		いいお産の日 IN 丸亀		岡田コミュニティセンター
12月4日(日) 9:30～12:30	一般	周産期の精神疾患について・ コミュニケーション技法について	古新町こころの診療所 院長 嶋 宏美先生	いのちの応援舎
12月10日(土)		第17回香川母性衛生学会学術集会		香川大学医学部

☆研修会の申し込みは、すこやか助産師センター事務所
(Tel.087-844-4131 fax087-844-4130) まで

助産師としての一区切りを終えて

報告)沼本朝子(沼本産婦人科医院)

当院は今年3月をもって分娩取り扱いを止めました。

助産師として40数年、高松で主人と共に働くようになって20年余り、諸先輩方からすれば”まだまだ”と言われるかも知れませんが、自分なりに頑張ったのではと思っています。

開業医の助産師として沢山の妊産婦に出会えた事は大きな宝物で、出産後も長いお付き合いをさせて戴いている方や、街角で出会って四方山話に花が咲いたり、手紙やメールで子供の近況を知らせてくれたり、最近では親子二代に渡って出産に関わる事が出来たりと勤務助産師の時には考えられない様な経験をさせて戴いた事はこの上ない喜びです。

仕事上では医師である主人と二人三脚で私の判断、対処方法等考えた事をスムーズに実行できたと思います。分娩はもちろん、入院中・退院後のケア等を含めた管理や子連れ入院の実施等、医師・スタッフの協力の下実践する事が出来ました。

今、改めて振り返っても、今迄仕事が続けられたのは主人のみならず家族とスタッフの協力があったの事と感謝しています。

今後、仕事を離れて何をするか……?まだ模索中です。ゆっくりと考えていきたいと思っています。



スタッフと一緒に



研修会報告

「助産師だからできる明日からの保健指導」を受けて

報告)小西仁美(東讃保健事務所)

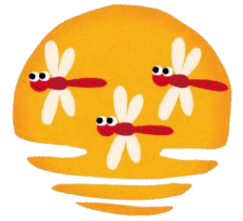
8月7日の研修会では、ふちもと助産院の淵元純子先生から「保健指導で地域格差を改善しよう!!～健やか親子21(第2次)を踏まえて」、藤沢こどもクリニックの藤沢卓爾先生から「皆さんに知って欲しい予防接種の最新情報」というテーマでお話をいただきました。

淵元先生からは厚生労働省が発表している健やか親子21の総合評価と、都道府県別の内訳を分かりやすく示していただきました。例えば10代の人工妊娠中絶実施率では全国平均としては「目標値には達していないが、改善した」という結果になっています。一見良い結果に見えますが、都道府県別にみると本県は全国平均より高い実施率であることが分かり、本県にとっては改善したとは言いきれないということを教えていただきました。普段医療機関や自治体で忙しく働いていると、なかなか全国的な流れや、本県での傾向などが掴みづらいついて感じていたので、データを読むことの大切さも含めとても勉強になりました。

また、藤沢先生からは予防接種の大切さ、また今年10月から公費負担となるHBワクチンについてもお話いただきました。乳幼児の予防接種は、定期接種だけでも種類が多く煩雑になっているため実際、地域で母親と接する中で母親からの質問も多くあります。また、任意接種を受けるべきかどうかという質問も多く、どのように勧めるべきか難しさを感じていました。今回先生のお話の中で「ワクチンを打たない怖さが、うつ怖さに比べ、比較できないほど怖いこと」と言われていたのが印象的でしたので、有効性を正しく伝え、罹患の予防や重症化の予防を図ることが大切だと思いました。



ウイメンズヘルスケア能力について



これからの助産師が地域で人々に係わる時、要求される事としてウイメンズヘルスケア能力があります。

日本助産師会が出しているウイメンズヘルスケア能力について考えてみます。

まず、女性の一生に係わるという事で非常に範囲が広く、すべての分野でエキスパートとなる事はなかなか難しい事です。そこで自分の得意とする分野をより深く極めることが出来ればと考えます。そしてそれぞれの得意とする分野の助産師が何人か集まることで、強力な支援体制を作ることが出来るのではないかと考えます。きっとどの分野も助産師として勉強し、一般の人たちに保健指導をすることが出来る力は持ち合わせている事と思いますが、中でも自分の得意とする分野に磨きをかけて、他に追従しないものを持ち、助産師仲間から呼ばれるようになりたいものです。分野としては次の10項目をあげます。

- ① 思春期のケア
単に月経のこののみならず、思春期の生活全般にわたってのヘルスケアとなる。
- ② 中高年のケア
更年期を含めた中高年女性への支援
- ③ 家族計画
女性とそのパートナーの身体的・心理的・社会的・経済的側面をアセスメントした適切な情報提供と支援
- ④ 不妊の悩みを持つ女性へのケア
不妊に悩む女性やパートナーが自分たちのニーズに即した治療を含む支援が受けられるよう支援する
- ⑤ 性感染症のケア
性感染症の結果についてアセスメントしその結果に応じた対象者への支援
- ⑥ 月経障害のケア
月経障害に関する支援
- ⑦ 女性に対する暴力へのケア
女性に対する暴力を知りそれに対する対処方法と適切な機関と連携を持ち、継続的な支援を行うことが出来る。
- ⑧ 虐待予防を含む子育て支援
ハイリスク児を抱える家族への支援とその地域を巻き込んだネットワーク形成とその支援
- ⑨ メンタルヘルスケア
女性の各期のメンタルヘルスの特徴を理解し、継続的支援が出来ること。
- ⑩ 出生前診断・遺伝相談におけるケア
出生前診断・遺伝相談について、女性とそのパートナーや家族に対する支援

以上10項目の中で④、⑥、⑧について来年2月24・25日の2日間大阪府助産師会館にて研修会が開催されます。一人でも多くの方の参加をお勧めします。(眞鍋由紀子)



～新会員紹介コーナー～

初めまして。吉岡加奈子と申します。

夫の転勤のため、大阪から丸亀市に越してきました。出身は石川県です。これまでずっと病院勤めだったため、助産師会での活動は初めてです。

新しい環境で不安もありますが、色々と教えて頂きながら楽しく活動していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

地域で活動し
てくれます！



香川井下病院は観音寺市大野原町にあり、昭和23年から井下産婦人科医院として開設され、平成21年に現在の産婦人科棟がオープンしました。西讃地域のみではなく、愛媛県四国中央市など様々な所から、また里帰り出産のために来院する妊婦さんもいて、年間に約550件のお産に関わっています。

当院では妊娠中に3D/4D超音波や羊水検査を用いて行う胎児の出生前診断に力を入れています。「おなかの赤ちゃんに異常がないことを確認して安心して妊娠生活を送るため」にスタッフ一同協力して日々取り組んでいます。そのために母親学級はもちろん、助産師によるマタニティ・ヨーガやマタニティービクス、おっぱい教室などの集団指導や助産師外来での個別指導など妊婦さんの希望に合わせて行われています。

お産に関しては事前にバースプランを提出してもらい、入院後にも再度確認し、より満足できるお産になるように心がけています。自然分娩のほかにも無痛分娩を取り入れた出産にも対応しています。またバースサポートシステム(BSS)が導入されているので活用しています。産後にはお母さんと赤ちゃんが一緒にいたい時は一緒にいられる様に24時間母児同室を行っています。同室を行い、育児技術の習得や授乳の練習を積極的に行っています。退院してからも不安や悩みを取り除けるように母乳外来・育児相談を行っています。生後2週間の体重測定のために来られる方が多いですが、他にも乳腺炎の対応や断乳・卒乳の相談など幅広く対応しています。



地域に密着し、よりよい医療・出産を提供できるようにスタッフ全員で協力しあい、取り組んでいます。



～お知らせ～

☆起えりこさんが「日本家族計画協会 会長賞」受賞！おめでとうございます!!

☆その他研修のお知らせ

- ・10月9日(日)13:00～16:15 地域で暮らす母子への切れ目ない支援—地域と施設との連携について考えよう— 淵元純子先生(ふちもと助産院院長) 場所:香川県看護協会看護研修センター
- ・10月16日(日)9:45～プライマリケア 医療・発達障害対応力向上研修会 香川県小児科医会他主催 場所:ホテルパールガーデン
- ・11月5日(土)9:30～香川県周産期医療従事者研修会 香川県主催 場所:香川大学附属病院
- ・11月26日(土)13:30～HTLV-1について(田中医師・久保井医師)、B型肝炎予防接種について(藤澤医師) 香川県主催 場所:国分寺青年センター

☆母子訪問調査委員会発足のお知らせ

母子訪問調査委員会が発足し、メンバーを中心に7月～3か月間の予定で県内(一部除く)訪問先の母親を対象にアンケート調査を行っています。ご協力お願いいたします。

☆今後の各会の予定

- ・10月4日(火)13:30～:ほっと相談室リーダー会
 - ・10月6日(木)10:00～:事例検討会(高松・東讃)
 - ・10月29日(土)10:00～:「いいお産の日 IN 高松」実行委員会
 - ・10月15日(土)9:30～:「いいお産の日 IN 丸亀」実行委員会
- 各部署担当者の協力のもと「いいお産の日」のため準備が進められています。ご協力ありがとうございます。

